

1.教育目標

- 「明るく健康な子」
- 「深く考える子」
- 「心豊かでやさしい子」
- 「力を合わせて働く子」

2. 目指す児童像（教育目標と児童の実態から）

- 「健康に関心をもち、体力を高めることができる児童」
- 「自ら考え、相手がわかるように伝えることができる児童」
- 「自分を認め、相手を認めることができる児童」
- 「学び合い、励まし合い、創造することができる児童」

3.目指す学校像

人権尊重の精神を基盤にし、主体的に学ぶ意欲をもち、日本の文化と伝統を尊重し、国際社会においても信頼と尊敬を得る心身ともに健康で、心豊かな児童を育成するため、本校の教育目標を踏まえて、以下のような目指す学校像を設定する。

- 児童にとって「体も頭も心もたくましく成長できる学校」
- 教職員にとって「教育の可能性を追求し、意識を高くもち続けられる学校」
- 地域や保護者にとって「教育活動に魅力を感じ、応援したくなる学校」
- ◎児童、教職員、保護者、地域の人々が「相生小学校大好き」と思う学校

4.学校経営上の課題（「おおた教育ビジョン」2019年度～2023年度に基づいた課題の明確化）

本校の教育課題の重点は、児童に自尊感情と多様性を認める態度を定着させる教育を通して、未来において心身ともに健康で、主体的な思考・表現・創造を実践するなど、よりよく生きていくことができる資質を身に付けさせることである。この課題に対応するため対話的な活動、協働的な活動を通して体力向上、学力向上、自尊感情の向上に繋げていく。

① 未来社会を創造的に生きる子どもの育成【未来】

- ・コミュニケーション能力
- ・論理的・科学的な思考力
- ・情報活用能力
- ・ともに生きる力
- ・健康増進・体力向上

② 学力の向上【知】

- ・基礎的な知識・技能
- ・思考力・判断力・表現力
- ・主体的に学習に取り組む態度

③ 豊かな心の涵養【徳】

- ・道徳性の涵養
- ・豊かな情操や感性の醸成
- ・主体性の育成

- ・ 保幼小中一貫した心の教育

④ 体力の向上と健康の増進【体】

- ・ 体力の向上
- ・ スポーツに親しむ態度
- ・ 健康づくり
- ・ 基本的な生活習慣の確立

⑤ 魅力ある教育環境づくり【学校・教職員】

- ・ 特色ある学校づくり
- ・ 教員の指導力の向上
- ・ 主体的・対話的で深い学び
- ・ 学校組織の活性化
- ・ 教育環境の整備
- ・ 特別支援教育の充実
- ・ いじめ問題、不登校対策の充実
- ・ 安全・安心の向上

⑥ 学校・家庭・地域が一体となってともにすすめる教育【学校・家庭・地域】

- ・ 地域とともにある学校づくり
- ・ 安全・安心な学校づくり
- ・ 家庭教育への支援
- ・ 教育相談の充実
- ・ 地域への愛着を育てる教育
- ・ 図書館の整備と文化財保護

5. 学校経営上の目標と方策

(1) 中期的な目標と方策

①健康教育の推進

- ・ 日常的に体力を高めようとする学校全体としての取組の推進
- ・ 新体力テストの結果を活用した実態分析と体育指導の改善・充実
- ・ 望ましい生活習慣を身に付けさせるための取組の拡充
- ・ オリンピック・パラリンピック教育に伴うアスリートを活用した取組の推進

②学力の向上

- ・ 学習意欲の維持・向上を目指した授業内容・授業方法の改善・充実
- ・ 基礎・基本を確実に身に付けさせるための学習環境及び家庭学習習慣の確立
- ・ 身に付けた知識を活かして応用力を育てる問題解決的な学習指導の充実

③こころの教育の推進

- ・ 人権尊重教育、道徳教育を基盤とした自分も他人も大切にす教育の充実
- ・ 国際理解教育、オリンピック・パラリンピック教育の推進に伴う環境づくり
- ・ 望ましい生活習慣と規範意識の定着を目指した生活指導の充実

④教職員の資質・能力向上

- ・ OJT、Off-JT を包括した教員の自己研鑽システムの構築
- ・ チーム学校としての組織を活用したプロ意識を高めるための取組
- ・ 働き方改革の達成を目指した勤務時間の縮減及び自己管理能力の向上

⑤地域・保護者との連携、風通しのよい学校づくり

- ・ 学校の発信力を生かした「開かれた学校」の取組の充実
- ・ 学校支援地域本部及びPTA等との効果的な連携による地域資源の活用
- ・ 防災活動拠点としての機能を活用した防災教育の充実

(2) 本年度の目標と方策

①健康教育の推進

○体力の向上

- ・大田区小学校駅伝大会を視野に入れた、持久力向上への日常的な取組(マラソントイム・体育授業)
- ・一校一取組運動に関わる特色ある体育プログラム(相生ギネス等)の実施
- ・スポーツテストのデータ分析と指導の改善及び環境整備
- ・ゲストティーチャーの招聘による児童の活動意欲向上

○健康な体の育成

- ・体育・健康教育授業地区公開講座等における体育科及び健康教育に関する授業の充実と発信
- ・年間を通して「早寝・早起き・朝ごはん」の主体的な取組の工夫(元気アップタイムの活用)

②学力の向上

○各教科・領域を通して基礎的・基本的な内容の定着と思考力・判断力・表現力の育成

- ・授業改善推進プランに基づく各教科における「主体的・対話的で深い学び」の充実(ペア学習、グループ学習の設定)
- ・課題学習の視点に立った国語教育の推進(校内研究・協議会の充実)
- ・スピーチタイム等の設定による話す、聞く活動の充実
- ・読む力を育成するための機会確保(読書 音読 群読)
- ・学年別に漢字検定合格者を設定し、漢字学習を推進
- ・東京ベーシックドリル、大田区ステップ学習、チェックシートを有効活用した算数習熟度別少人数指導
- ・個人の学習カルテを活用しての保護者面談の実施及び家庭学習支援
- ・放課後補習、土曜補習教室の設定及び参加児童の選定、出席管理による基礎的学力向上の底上げ
- ・発達段階に応じたノート指導の徹底(板書の工夫、重視)
- ・ICT機器を活用した授業改善及びプログラミング教育の推進
- ・自主学習(高学年先行)を取り入れた「学年×10分+10分」の家庭学習の工夫・定着

○国際理解教育の推進

- ・年間5・6年生70時間の教科「外国語」、3・4年生35時間の外国語活動、1・2年生8時間の大田区外国語活動の確実な実施、
- ・地域の教育機関等と連携した外国人留学生との交流
- ・羽田空港における様々な方との交流活動の実施
- ・外国籍児童による外国紹介

③こころの教育の推進

○人権教育の推進

- ・人権にかかわる年間指導計画の実践、学期ごとの見直し(カリキュラムマネジメントの観点から)
- ・全教科を通して児童に生命の尊さ、自他の人権を尊重する教育を推進
- ・東京都の「人権尊重プログラム」を活用した授業実践及び日常的な取組の充実

○特別の教科 道徳の充実

- ・道徳教育推進教師による模範授業参観及び「考える道徳」「議論する道徳」への授業改善
- ・道徳の評価に関わる長期的な観察による児童の変容の適切な見取り(2学期または3学期での評価)
- ・魅力ある道徳授業地区公開講座の開催と意見交換会の充実

○主体的に規範意識を高めるための取組・指導

- ・登校時及び校舎内でのあいさつの徹底
- ・「忘れ物ゼロ、遅刻ゼロ」等の達成者紹介による規範意識の向上
- ・自分自身を守るための子どもに考えさせる安全指導及び安全点検の徹底

④教職員の資質・能力向上

○教員の研修の活性化

- ・授業力の向上(授業観察時における主体的、対話的で深い学びのテーマ設定)
- ・週案を活用した見通しをもった指導計画(本時のねらい・活動の明記、意図的・計画的な指導の実施)
- ・服務事故防止研修及び人権尊重に基づく児童・保護者対応研修の毎月実施
- ・働き方改革の視点に立った教職員の自己管理能力の向上及び学校全体での校務改善方法分析
(時間設定による業務推進の効率化、業務量調査の実施、会議等開始・終了時間の遵守)

○個々の経営参画意識及び連携力の向上

- ・経営会議の週一回、拡大経営会議の月一回定期開催を厳守
- ・イントラネットを活用した分掌連絡システムの構築
- ・随時学校評価、随時改善の考え方による柔軟な学校運営
- ・柔軟な視点に立った分掌編成、学級編成(担任の単年度任期等)
- ・人材任用、人材配置を有効に活用するための教職員の連携力強化
- ・会議の精選、分掌配置の工夫等による働き方改革の推進

○一人一人に向き合う教育の推進

- ・SCや関連諸機関と連絡・情報交換及び保護者との連携指導
- ・幼保小の連携及び小中一貫教育の推進(あじさい会としての連携)
- ・生活指導部を中心とした問題行動への迅速な対応(生活指導連絡会の毎週実施)
- ・メンタルヘルスチェックの実施(6月、11月)、個別相談によるいじめゼロ、不登校ゼロ

⑤地域や保護者との連携

○自然災害対策

- ・学校防災拠点本部との連携、活用
- ・校内災害対策対応の地域・保護者への周知及び連携

○地域の教育資源の活用

- ・学校支援地域本部コーディネーターとの定期連絡
- ・交通安全運動等地域との連携
- ・地域関係機関、施設との連携

○学校から発信

- ・ホームページの内容やブログの充実